

学校法人健生学園
東日本医療専門学校
校長 高橋 孝義 殿

学校関係者評価委員会
委員長 安達 淳

令和5年度 学校関係者評価委員会報告

学校関係者評価委員会は「令和5年度学校自己評価報告書」に基づき学校関係者評価を行いましたので、下記のとおり評価結果を報告いたします。

記

1. 学校関係者評価委員

- ① 安達 淳 (地元企業関係 イーグル整骨院、卒業者関係 柔道整復科卒業)
- ② 坂野 真 (地元企業関係 さかの鍼灸接骨院、卒業者関係 柔道整復科卒業)
- ③ 鈴木 洋介 (地元企業関係 名取中央はり灸治療院、卒業者関係 柔道整復科、
鍼灸スポーツ科学科卒業)
- ④ 大井 洋輝 (関連業界団体等関係者 ジャパン柔道整復師会)

2. 学校関係者評価委員会の開催状況

第1回委員会 令和6年3月21日 東日本医療専門学校 会議室

3. 学校関係者委員会報告書

別紙のとおり

以上

学校法人健生学園 東日本医療専門学校
令和5年度 学校関係者評価報告書

1. 「教育目標」に関して

委員評価	委員からの意見
3	<ul style="list-style-type: none"> ・とても良い教育目標ですので、毎日コツコツと、永年かけて体にしみ込ませたい目標です。継続は力なりです。(安達委員) ・伝統と現代をバランスよく指導されていると思います。(鈴木委員) ・より具体的な表現で閲覧者からの理解を深めてほしい。(大井委員) ・前年、どのフィールドでどのような即戦力がある人材が育ちましたか。(坂野委員)

2. 「本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画」に関して

委員評価	委員からの意見
3	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒・園児募集はキモとなる主要な部分ですので、重点的に取り組む必要があります。人を集める為にも国家試験対策や施設・設備を充実させることは必要です。(安達委員) ・教育目標に即戦力というワードがあるので、しっかり土台を作りながらも即戦力になるための目標もあるとよいと思います。(鈴木委員) ・実践研究科の募集休止はなぜでしょうか。(坂野委員)

3. 「評価項目の達成および取組状況」に関して

3-1 教育理念・目的・人材育成像

評価項目	学校評価	委員評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4	3
学校における職業教育の特色は何か	4	3
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3
学校の理念・目的・育成人材像・特色・未来構想などが学生や保護者に周知されているか	3	2
各学科の教育目標・育成人材像は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	3
<p>(委員からの意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理念は時々確認したり、周囲・関係者にも自分のものにしてもらう必要があります。文章で頭で分かっても自分を律することや実行することはとても難しいです。絵に描いたもちにならないように実行できることが大事です。(安達委員) ・PRに関しては、現代に合わせて親しみやすい内容が表現されていてよいと思うが、伝統医療の要素もゼロにはしない方がよいと思います。(鈴木委員) 		

- ・保護者への周知、情報共有が強化されると生徒募集につながると思う。(大井委員)
- ・どの SNS でどのように配信しているのでしょうか。(坂野委員)

3-2 学校運営

評価項目	学校評価	委員評価
目的に沿った運営方針が策定されているか	3	3
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	3
人事や給与に関する規定は整備されているか	3	3
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	3
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3
教育活動に等に関する情報公開が適切になされているか	4	3
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3
<p>(委員からの意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンスは実行することが難しい課題ですので、日頃から意識して実行できるように、日々のルーティンの中に理念や倫理を高められる行動が入り込んでいるといいと思います。(安達委員) ・学校内で、企業の方からの特別授業で現場の技術、雰囲気を感じられるのはよいと思います。(鈴木委員) 		

3-3 教育活動

評価項目	学校評価	委員評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方法等が策定されているか	4	4
教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の就業年数に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	4
キャリア教育や実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携によりカリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3

関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップや実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	3
授業評価の実施・評価体制はあるか	4	4
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	4
成績評価や単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	4
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	4
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務、兼務含む）を確保するなどのマネジメントが行われているか	4	4
関連分野における先端的な知識や技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3
<p>(委員からの意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育への取り組む時間はいくらあっても足りないものですので、他のタスクもこなしながら、根幹部分の教育への取り組みも実行していかなければならないのは大変なことと思いますがよろしくお願いします。 (安達委員) ・業界、団体との交流は消極的に見える。もっと東日本医療専門学校と関わりを持ちたいと思っている人は多いので、校外での教員、学生の交流も活発にしてほしい。(鈴木委員) ・生徒にしっかり寄りそった教育をしている事をもっと周囲にアピールした方が良いと思います。(坂野委員) 		

3-4 学修成果

評価項目	学校評価	委員評価
就職率の向上が図られているか	3	3
資格取得率の向上が図られているか	4	3
退学率の低減が図られているか	3	3
卒業生や在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	2
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3	2

(委員からの意見)

- ・世代によっても働くことへの向き合い方・考え方が違ってきているので、新社会人を迎え入れる社会や組織や個人の側の考え方や対応も新しく学び直して新しい世の中に対応しなければなりません。(安達委員)
- ・学生が入学時、進級時にどういう業種に就職したかったのかと実際に就職した業種を数値化して指導に活用した方がよい。(鈴木委員)
- ・卒業生へのフォローや状況把握を強化してほしい。(大井委員)
- ・卒業生で成功した方の具体的な成功までのプロセスと活動を例にあげていくつか紹介するのも良いと思います。(坂野委員)

3-5 学生支援

評価項目	学校評価	委員評価
進路や就職に関する支援体制は整備されているか	4	3
学生相談に関する体制は整備されているか	3	3
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3	3
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	4
学生の生活環境への支援は行われているか	3	3
保護者と適切に連携しているか	4	3
卒業生への支援体制はあるか	3	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	2
高校や高等専修学校等との連携によるキャリア教育や職業教育の取組が行われているか	3	3

(委員からの意見)

- ・今の世代の声掛けは「一緒にやりましょう」「一緒に調べましょう」など、「～やりなさい」というよりも手助けして一緒にやる姿勢が必要なんだと聞きました。声掛けを工夫しないと生徒の気持ちが離れていってしまうので、気をつかう必要があります。(安達委員)
- ・個人情報の問題やすでに実施しているかもしれないが、卒業生の就職先などが見れるとよいと思います。(鈴木委員)
- ・ビジネスマナー研修等、社会人としての知識を勉強するカリキュラムがあると尚良いと思う。(大井委員)
- ・LINE や SNS での相談窓口を早急に準備した方が良いと思います。(坂野委員)

3-6 教育環境

評価項目	学校評価	委員評価
施設や設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4	4
学内外の実習施設・インターンシップ・海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	4
防災に対する整備はされているか	4	4
<p>(委員からの意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すばらしい教育環境があれば、あとは学ぶだけ、身に付けるだけです。結果が大事です。(安達委員) ・学校外の環境で、業界の人達と接する機会がもっと増えると様々な刺激になると思います。(鈴木委員) ・良いと思います。(坂野委員) 		

3-7 学生の受入れ募集

評価項目	学校評価	委員評価
学生募集活動は適正に行われているか	3	3
学生募集活動において教育成果は正確に伝えられているか	3	3
学納金は妥当なものとなっているか	4	3
<p>(委員からの意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会は資格者を必要としていますので、仕事や業界に夢を持ってもらえるように取り組みたいものです。 (安達委員) ・スポーツを特色に募集するのであれば、制度的に難しいかもしれないがA Tも取得できると他校との強い差別化になると思います。(鈴木委員) ・入学後のミスマッチは具体的にどのような事でしょうか。(坂野委員) 		

3-8 財務

評価項目	学校評価	委員評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	3
予算や収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4	4

(委員からの意見)

- ・とても大事な部分です。(安達委員)
- ・生徒数の増加によるさらなる安定があるとよいと思います。(鈴木委員)
- ・実践研究科、初回無料等試してみたいはいかがでしょうか。(坂野委員)

3-9 法令等の遵守

評価項目	学校評価	委員評価
法令や専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	4
個人情報に関し、その保護のために対策が取られているか	3	3
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	4
自己評価結果を公開しているか	4	4
(委員からの意見)		
・とても大事な部分です。足元をすくわれないように法令等の遵守は日頃から徹底したいですね。(安達委員)		
・来年の学校評価が1つでも4になっているとよいと思います。(鈴木委員)		

3-10 社会貢献・地域貢献

評価項目	学校評価	委員評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3	3
学生のボランティア活動を奨励し、支援しているか	3	3
地域に対する公開講座や教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託を積極的に実施しているか	3	3
(委員からの意見)		
・地域の行事に参加してくださると地域は助かります。地域もだいぶ高齢化しているので……。 (安達委員)		
・付属接骨院、鍼灸院が活発に活動できるとよいと思います。(鈴木委員)		
・西中田商工振興会、マルシェに参加してみたいは如何でしょうか。登坂会に参加してみてください、 (坂野委員)		